

PAVONE

The Spirit of Elegance

VOL. 47

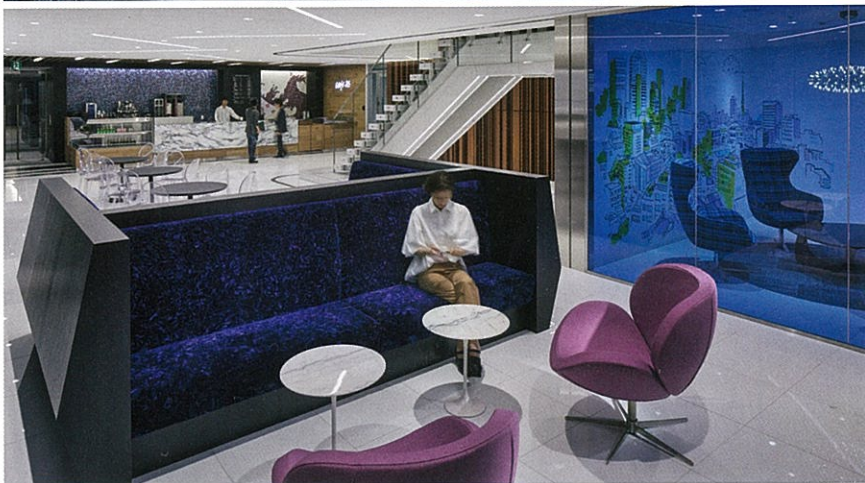
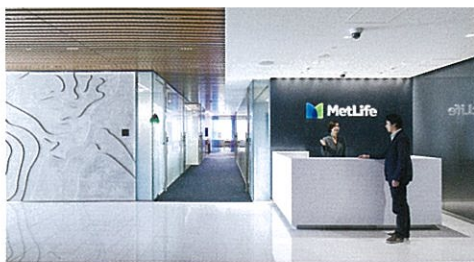
SPRING/SUMMER 2018



TREND OF GLOBAL DESIGN

オフィスデザインの新しい潮流

グローバル企業として世界に活躍の場を拡げているメットライフ生命。
社員のコミュニケーションやコラボレーションを促進させ、
創造性と革新性の強化が可能となるワールドクラスの職場環境を実現させるため、
紀尾井町の東京ガーデンテラス (TGT)、
錦糸町のオリナス・タワーに新オフィスを完成させました。
その先進的なオフィスデザインをてがけたデザインディレクター、
クリストファー・ブルックス氏にお話をお伺いしました。



Profile

Design Director Christopher Brooks, AIA

クリストファー・ブルックス
U.S. Licensed Architect

アメリカの AIA 建築家として活躍、
日本では建築家及びインテリアデザ
イナーとして20年間の経験を持つ。

Various Projects for/
MetLife, Google, Bandai Namco
Studios, adidas, Cardinal Health,
Kenedix, Fortress, Airbnb, Aozora
Bank, Morrison & Foerster LLP,
Prudential Financial



■スクエア

従業員や訪問者、そして家族が集ま
る場所。関連する全ての人への尊敬の
念を示すスペース。会議室、トレーニ
ングルーム(内部でもあり外部でもある)、
IT 機器の対応(テックライフ)、ゲーム
スペースなどが用意される。

■クラブ

フロア単位の集合場所。各フロアに2
つあり、オフィスの入り口にある。フロ
アごとにデザインが異なり、社員同士の
ミーティングスペースになる。26種のク
ラブは全てデザインが異なり、日本の
文化、風習、季節などを示す。

■ネイバーフッド

業務を進めていく上で必要な少人数
で会議のできるスペース。短時間の
ミーティングが出来る小規模なワーク
スペース(ハドルーム)。モニターや
プリントアウトできる機器なども用意さ
れ、多様なビジネススタイルに応じて
適応される部屋。

最適な職場環境を持つことで
社員も企業も大きく変化する

「まず、最初にメットライフ生命か
ら依頼されたのは、これまでに無い
ものを」ということでした。个性的
であり、過去のコピーではない、ベ
ストなものが要求されたのです。オ
フィスをデザインする際、今主に3
つのことを考慮することが求められ
ています。オフィス環境がよりグロ
バルになってきていること。また、
複数の文化をもった方が同じ場所で
働くようになってきたこと。そして
世代の幅も広がっているというこ
とです。このような多様性に対応で
きるフレキシブルな環境が必要とさ
れているため、100年後のことも
考えながらデザインをしています。
そして、メットライフ生命のグロ
バル企業としてのプレゼンスは「ス
クエア」「クラブ」「ネイバーフッド」
の3つの主題で表現しています。」

ビジネススタイルの変化と
オフィス環境の未来的志向

「この先、ビジネスマンがマルチ
タスクを必要とする場合に、人間が
自然なままにアクションを起こせる
ような、直感的に動くことによって
生産性を高めることが出来るような
オフィス環境が提供されなければな
らないと思います。そしてIT化が
進むことによってオフィススペース
が不要なのでは?という議論も出て
くると思います。ただ仕事を進める
には、人間同士のコミュニケーション
が不可欠なので、人同士の交流は
必ず残っていきます。ゆえに、その
答えはNOだと考えます。技術革新
は人間にとって代わるものではなく、
人間の可能性や生産性を高めるため
のもの。それを実現するためのデザ
イン、それこそがこの多言語、多人
種が集う先進的なオフィススペース
のコンセプトが示すものです。」

Information

株式会社 GARDE

東京都港区南青山5-2-1 ALLIANCE 2F・4F
TEL 03-3407-0007
www.garde-intl.com